

## 令和3年度第2回岐阜県教科用図書飛騨地区採択協議会（議事録）

- 1 期 日 令和3年7月14日（水）
- 2 開催時間 9:00～10:40
- 3 開催場所 高山市教育研究所 3階多目的研修室
- 4 参加者 飛騨地区採択協議会委員 18名（遅刻1名、欠席3名）  
飛騨地区採択協議会事務局（高山市教育委員会学校教育課職員）2名  
司会：事務局 説明：事務局 協議進行：会長
- 5 議事録

事務局	<p>□本日の進行は、飛騨地区採択協議会の事務局である高山市教育委員会事務局が務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本協議会は机上に配付しました資料2ページの「飛騨地区採択協議会規約」に基づき、運営をいたします。はじめに、開会の言葉を、飛騨地区採択協議会副会長沖畑康子飛騨市教育長様よりいただきます。</li> </ul>
副会長	<p><b>【開会の言葉】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちがずっと大切に使う教科書なので、ご審議の方をよろしくお願いいたします。これより、令和3年度第2回岐阜県教科用図書飛騨地区採択協議会を開催します。</li> <li>・続きまして、飛騨地区採択協議会会長 中野谷康司高山市教育長がご挨拶申し上げます。</li> <li>・おはようございます。本日はよろしくお願いいたします。</li> <li>・第1回は、コロナ対応ということでオンラインで開催させていただきました。今日は、コロナも収まっており、対面方式で開催させていただきます。皆様方から直接ご意見をいただきたいと思いますので、どうかよろしくお願いいたします。本日の協議会では、飛騨地区の小・中学校で来年度に使用する教科書を選定します。飛騨地区全体ということで、今年度使っているものを来年度使うかどうかという視点と、中学校の教科書でいいますと、歴史教科書のみ今回新たに調査して皆様からご意見をいただくということになっていますので、現在使っている小学校の教科書を来年も使うかどうか、現在使っている中学校の教科書を来年も使うかどうか、そして歴史の教科書で新たに検定教科書が出てきたので、調査を行って歴史の教科書をどうするかという3点についてご意見をいただきたいと思いますので、どうかよろしくお願いいたします。</li> </ul>
事務局	
会長	

事務局	<p>□本日の会には、規約第10条が示しております会の成立に必要な半数以上の委員に出席いただいています。本日3名欠席、お一人遅れてみえます。</p> <p>□本会の議事録は、9月1日より公表の対象となります。議事録は下呂市教育委員会事務局でお願いします。</p> <p>□それでは、これより協議に移ります。協議の進行を協議会会長にお願いします。</p>
<p>会長</p> <p>事務局</p> <p>会長</p> <p>事務局</p> <p>会長</p> <p>委員</p> <p>会長</p>	<p><b>【小学校教科書の選定】</b></p> <p>□最初に、小学校の教科書を来年度どうするか、2番目は中学校の教科書を来年度どうするか、3番目は中学校の歴史の教科書をどうするか、この順番で話を進めさせていただきますので、よろしくをお願いします。それでは、令和4年度飛騨地区で使用する小学校の教科書を選定したいと思います。庶務から説明願います。</p> <p>□採択協議会資料6ページをご覧ください。第1回の協議会でご説明しましたように、4年間は同じ教科書を使用するように法令で定められております。昨年度採択された小学校の教科書一覧が載せてあります。それぞれの教科書を使用することに問題はなく、意見箱にも特に意見はございませんでした。特別なご意見がなければこの選定案で承認をお願いします。</p> <p>□意見箱とは何ですか。</p> <p>□飛騨地区で、教科書の展示会が行われました。その展示会に意見箱を設置しまして、幅広く意見を聴くことができるようになっております。その意見箱です。</p> <p>□わかりました。特に、意見はなかったということですね。では、小学校使用教科書の選定案について、何かご意見はありますか。小学校の学校現場で使っている先生、あるいは保護者の皆さんで、何かご意見はないでしょうか。</p> <p>□担任に聞いたり、私自身も教科書を見たりしての感想です。国語の教科書は、単元の初めにこの単元は話す教材なのか、書く教材なのか、単元の終わりには見通しをもって学習できるように、課題をとらえる、深める、まとめる、広げるとなっていて大変分かりやすくなっています。社会に関しては、大変資料が多い、単元に入る前には、歴史の場合、年表がある。地理だったら地理がしっかりあり、政治経済であれば図で示してある。社会は言葉がなかなか難しいので、重要な事柄がコラムになって載っています。武士、墨絵、貴族などの解説もあり、わかりやすくなっています。算数では、専門家に聞きましたら、書き込み式になっています。また、いろいろな仲間や意見が書いてあったりして、読みやすい。巻末には、ひらめきアイテム集があり、この単元をどうとらえるか、これは切り取り式になっていて勉強したことを次の単元でも使えと、大変活用していると聞いています。以上です。</p> <p>□今、教師の立場からの感想、意見がございましたが、小学校のお子さんが見える方、お子さんの立場から、子供たちはどのように思っているのか、あるいは保護者の方で、こんなことを感じているというのが何かございましたら、どうでしょうか。</p>

委員	<p>□今、4年生の子がいるのですが、教科書について今回機会をいただいたので、聞いたところ、「全部いいよ」と言っていた。子供からすると、いろいろな教科書があるとか、そういうことはないので、与えられたものを読んでいく、吸収していくしかないのでは、この選定委員会というものがすごく大事なものであると感じました。子供には、教科書を選ぶという選択肢はなくて与えられた時点でよいものとして吸収しようとしているので、そこを大事に考えないといけないと思いました。あと、実技系のもので写真が入っているものは、子供たちにすごく受け入れやすくなっているのでは、いい作品ばかりが載っているのではなくて作っている場面が載っていたり、話し合っている場面がついていたりとか、体育でも体の動きが載っているとか、そういうところはわかりやすくいいと言っていました。道徳は、読み物として楽しんでおります。</p>
会長	<p>□いかがでしょうか。学校現場では、何か他にご意見はありましたか。それでは特になさそうなので、この現在使っている教科書について、皆さんからご承認をいただきたいと思っております。承認いただける方は挙手願います。</p>
委員	<p>(全員挙手)</p>
会長	<p>□(確認)ありがとうございました。では、この資料1、6ページの現在使っている教科書一覧を、来年度の飛騨地区における小学校の選定教科書とします。それでは次に、飛騨地区の中学校の教科書を選定したいと思います。庶務から説明願います。</p>
事務局	<p>□資料7ページをご覧ください。昨年度採択されました中学校の教科書一覧が載せてあります。中学校歴史教科書の協議については、この後の協議3でお話しさせていただきます。歴史教科書以外のそれぞれの教科書を使用することに問題はなく、意見箱にも特に意見はありませんでした。特別なご意見がなければこの選定案で承認をお願いします。</p>
会長	<p>□事務局の説明は終わりました。中学校使用教科書の選定案について、皆さんのご意見をいただきたいと思っております。何かご意見はあるでしょうか。</p>
委員	<p>□数学について教えてください。久しぶりに大日本図書から東京書籍に替えたと思っています。先生方の指導上のこと、あるいは生徒たちの使った比較とか、わかったら教えてください。</p>
委員	<p>□デジタル黒板、デジタル系の学習の教材に特化して対応できているということで、非常に見やすいという現場の声がありました。学習用のデジタル教科書については、一部の学校の支給ということになりますので、そちらの方にちゃんと求めましたけれど、現場で対応するのが手一杯ということで、よいとか悪いとかいうところまでは至らない、ちょっと不具合があるということが声として上がっているというだけで、教科書としてのアナログのところとか、全部の学校に支給されているデジタル黒板とかは、特に問題ないということです。</p>
委員	<p>□私も、数学2年生を教えております。節の導入から難易度として低位の子にも取り掛かりやすい問題が素材としてあるということです。デジタル教科書もそれに対応</p>

会長	<p>して使っておりますので、生徒からも特に昨年度と比べて使いにくいということを知っておりません。私もまた一から教材研究をして毎日向かっているところです。</p>
委員	<p><input type="checkbox"/>いかがでしょうか。</p>
会長	<p><input type="checkbox"/>はい、わかりました。</p>
委員	<p><input type="checkbox"/>他ご意見はないでしょうか。</p>
会長	<p><input type="checkbox"/>学校訪問と教育長訪問等で訪問していますと、昨年度話題になっていましたQRコードやデジタル教科書に対応したもので、非常にICT関連の場面を見ることができました。特に社会科や、国語と英語のデジタル教科書を使っている授業等、非常に反映されていて子供が学びやすいということと、ICTに対応しているということで、昨年度の選定で話題になっていることが少しずつ表れていると思いました。</p>
会長	<p><input type="checkbox"/>お子さんの意見や保護者として教科書を見られて、あるいは先ほどありました教育委員会の学校訪問とかで授業を見られてというようなことがあると思いますが、何かご意見はありますか。</p>
委員	<p><input type="checkbox"/>それでは、いろいろなご意見も尽きたようですので、飛騨地区の中学校の来年度の教科書は、一覧にある現在使っているもので、歴史以外の教科書はそれで承認いただける方は挙手願います。</p>
会長	<p>(全員挙手)</p>
事務局	<p><input type="checkbox"/> (確認) ありがとうございます。では、この一覧にあるものを、来年度使用するというので、飛騨地区採択協議会の方向性として出させていただきます。それでは、次の協議に入ります。事務局より、歴史教科書の選定について説明願います。</p>
会長	<p><input type="checkbox"/>昨年度の調査研究において、「飛騨地区生徒の教科に関わる実態」を明確にし、今後の「指導にあたっての重点」を見定めました。次に、教科書を調査研究する「着眼点」と「調査研究の方法」について明確にして採択をしました。新しい歴史教科書については、「今年度の県の調査研究資料」「昨年度の採択理由」「昨年度の協議内容」を基にして、昨年度と同じ着眼点から事務局から説明します。提案では、着眼点からみた2つの発行者のよさを報告し、最終的に採択替えを行うか否かについて提案します。委員の皆様には、採択替えを行うか否かの判断をしていただきますことを、申し添えさせていただきます。報告ののち、質疑応答の時間を十分取りましますので、協議委員のみなさまには、飛騨の生徒たちのために、積極的な発言をお願いします。本日、皆様に2冊の教科書をみていただけるように机に置いています。委員の皆様には、今日までに教科書展示会等でご覧いただいています。これからの報告の中では、実際の教科書を実物投影機でお示しして説明しますが、説明中や質疑応答の合間に、教科書を手にとってご覧いただくようお願いいたします。飛騨地区7カ所で開催した教科書展示会で寄せられた意見書はお手元の別冊12ページから載せてあります。この後の協議では、事務局からの報告と併せて、一般の皆様のご意見も考慮して協議してください。</p>
会長	<p><input type="checkbox"/>庶務の説明は終わりました。これから、調査研究結果の報告と、採択案の議決を行います。庶務からの説明を聞きまして、その後いろいろなご意見をいただき、最終</p>

	<p>的には、採択替えをするか否かということで、皆さんのご意見を伺いたいと思います。社会科の歴史教科書について、事務局より報告願います。</p>
事務局	<p>◇報告</p> <p><input type="checkbox"/>社会科の目標について</p> <p><input type="checkbox"/>県の調査研究について</p> <p><input type="checkbox"/>昨年度、飛騨地区で重視した着眼点について</p> <p><input type="checkbox"/>昨年度の採択理由について</p> <p><input type="checkbox"/>昨年度の協議内容について</p> <p><input type="checkbox"/>社会科の目標、飛騨地区の生徒の実態、教科指導の重点、着眼点の説明、昨年度重視した着眼点、県の調査研究、昨年度の意見書、昨年度の採択理由、昨年度の協議内容を説明。</p>
会長	<p><input type="checkbox"/>昨年度、教科書を選ぶにあたって重視して調査研究したことが着眼点だと思いますが、(2)言語活動とは何ですか。</p>
事務局	<p><input type="checkbox"/>言語活動は、子供たちが対話を通して学んでいく活動を設けてあるかどうかということです。今の教科書に、その点も配慮されて、そのようなコーナーも設けられています。</p>
会長	<p><input type="checkbox"/>もう一点、問題解決的な学習とは何ですか。</p>
事務局	<p><input type="checkbox"/>子供たちにとって、問題点を見つけてそこから課題を作り解決していくところ、そこがすごく重要視されています。こちらが問題や課題を与えるのではなく、子供たちが問題点を見つけていく、そして課題を見つけていく、そういった授業が重視されています。</p>
会長	<p><input type="checkbox"/>皆さん分かったでしょうか。言語活動の方は良かったですか。はい。では、問題解決的な学習については、社会科の先生の委員さん、どうですか。</p>
委員	<p><input type="checkbox"/>わかりました。今の時代の流れなので大切なことだと思います。ただ単に知識だけを獲得するのではなくて、自分自身で課題を見つけて、その中で資料を選んで、自分で解決していくという流れがあるので、大切なことだと思います。</p>
会長	<p><input type="checkbox"/>課題、疑問点ということですね。子供たちが、教科書の内容とか、あるいは疑問点を見つけて、子供たちで話し合って解決していく、ということですね。資料を通して、何か質問等ありませんか。それでは、続いて説明をお願いします。</p>
事務局	<p><input type="checkbox"/>二者（東京書籍、自由社）について、昨年度重視した着眼点に基づいて説明。</p>
会長	<p><input type="checkbox"/>ご意見はどうでしょうか。この点はわかりにくかったというご意見でもよいです。</p>
委員	<p><input type="checkbox"/>展示で見せてもらって、偶然開いたページが自由社の245ページの第2次大戦のところで、教科書の内容が載っているのですが、そのタイトルに聖断下ると載っていて、聖断下るという言葉が文章の中でも出てくるのです。東京書籍を見ると、聖断という言葉は使っていない。言葉が、少し難しいかと思いました。ちょうど思考・判断でいうと、東京書籍のその後のところに、いくつかワークシートみたいな子供の思考をうまく導くようなページがあるのですが、そこはうまく工夫している</p>

<p>委員</p> <p>会長</p> <p>委員</p>	<p>と思いましたが。本当にわずかな部分しか見ることができていませんが、そのような印象でした。</p> <p>□ありがとうございました。</p> <p>□今の説明を聞かせていただきながら、見方・考え方であるとか、東京書籍の方が細かくステップを踏んであると感じました。そして、生徒自身が自分で学ぶ時も、家庭で教科書を使って書き込んだり、振り返りをしたり、自ら学ぶ道標みたいなものを感じました。</p>
<p>会長</p> <p>委員</p> <p>委員</p>	<p>□ありがとうございます。</p> <p>□我が家は小学生、中学生の子がいますが、小学校は教科書を見ることが多いのですが、中学校は忙しいので、なかなか宿題や教科書を見ることも少ないです。</p> <p>今デジタル化が進んでいますが、小学校の授業参観では、早速国語の授業で先生が電子黒板を使われている授業を観ました。今からコンピュータ、デジタル教材の活用がどんどん進んでいくと思いますが、子供が自分でタブレットを使って2次元コード、QRコードを読み取る場面が、東京書籍は多く掲載されて見えるということで、自由社さんは載ってないということです。ゆっくり見ていないので、先生方ではないとわからないのですが、パッと見た感じでは自由社さんの方が見やすいなと思ったのですが、重さ的には東京書籍の方が少し軽かったので、子供たちにとってはすごい荷物を背負って、3年間リュックがもたないくらいの重さを持っているので、軽いほうがいいのかなと思いました。</p> <p>□我が家は中学生と高校生の子がいます。社会は1番大好きで、他の勉強はできないのですが社会は大好きでよく見ているので、どんな勉強をしているのかと覗いたこともあったのですが、改めて見させてもらう中で、パッと見た感じは自由社さんが見やすい、目に重要な部分が入ってきやすいなと受けたのですが、今先生方の説明を聞いた中で、そういった視点を大事にしながら勉強していることを感じて、もう一回見たところ、東京書籍は子供たちが主体的に学べ、興味のない子でも社会に興味を持つことができる、学んで向かっていくことができる内容であると思いました。詳しいことは先生たちに精査していただきながら、未来ある子どもたちの学びにつなげていっていただけたらと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>□先ほどの意見に合ったように、子供たちは与えられたものを信じてそれを学ぶ形なので、教科書を選ぶことの大切さがわかった。私は、孫が小学生ですが隣の方と「教科書は重たいよね。」という話をしている、朝担いでいくときに持ってあげたら後ろにひっくり返りそうになるくらい重たくて、印刷の美しさや製本の良さは自分の子どものころと比べものにならないものですが、でも、子供たちは目を酷使していると思いました。教科書の歴史の本を全部見させてもらって、自分が子供の身になったときに、引き込まれる教科書と先生に教えられるのではなく子供がその教科書を見たときに、「面白そう」と思う教科書のつくりを全部で8者見ましたが、やはり東京書籍がいいなという感じがしました。年表があったり、年表がないのがあつ</p>

委員	<p>たり、教科書の後ろにクイズがあったり、問題集みたいな形についていたりするのも何者かあったりしたが、そういうところも新しいと感じた。色合いとか、構成とか、子供がパッと見ていいと思う教科書はいい、中身も大切ですが、子供を引き付ける教科書がいいと思います。</p>
委員	<p>□重要な単語は太字になっているので、自由社の方がメリハリがきいている印象はあるが、編集全体を見たときに、東京書籍の方が、例えばスキルアップとかチェック項目とか、次にもっと知りたいと生徒が思って、感じて、調べてみようと思う工夫がされている。全体的に淡いグリーン面積が多くて、目にやさしい印象を受けました。</p>
委員	<p>□我々のころの教科書と比べて、最近はカラフルで、いつも見てびっくりします。見やすさはほぼ変わらないのですが、東京書籍の方が薄い緑で目にやさしい感じがいたしました。私も専門ではないので、どちらがいいかというのを頭をひねってしまいますが、子供たちが意欲的に教科書を開き、先生の授業にしっかりと教科書を見ながら学んでいければいいと思いました。</p>
会長	<p>□ありがとうございます。</p>
委員	<p>□私は、東京書籍でいうと、248 ページ、249 ページ、自由社でいうと 252 ページ、253 ページ、巻末のところを対比しやすいと思ったところをあげさせていただきますと、東京書籍は思考をかなりかき立てるところで、戦争へのターニングポイントといった書き方で、答えが書いてないのです。そこが、すごく考えさせているなと思いました。一方、自由社 252 ページは Q &amp; A で、253 ページが対象になるのですが、近代後半とはどんな時代だったのかと漠然として書いてあって、それはどんな風に考えていくかっていうと、課題について誰々のノートとしてあるので、どちらかという主体的に考えさせるのですが、答えをどこかに求めているような条件を感じて、そういう意味で東京書籍がすごく面白いと感じて、こちらの巻末に好印象を感じました。</p>
委員	<p>□東京書籍の 32 ページと自由社の 34 ページを比較してもわかるのですが、これからタブレットが入るので、教科書にすべてが書き込まれていなくてもいいと思うのです。そういう意味で言うところ載せられている資料の数の多さと、もう 1 つは視点を与えているところが、東京書籍は非常に優れているなと思います。銅鐸を見せてもその一部をクローズアップして、何が書かれているかは載せていない、子供に考えさせようとしている。また、魏志倭人伝の資料も載っていますが、大事な部分だけを選んで載せてある。深くもっと知りたければ、限られた子供が一人一台のタブレットを使って調べられるように示唆するような視点を与えているので、非常に優れているなと思いました。他の教材についても同様で、やはり ICT 機器に対応していくような示唆を提示していくような教科書が、今後は大事だと思います。特に、去年から今年にかけて、コロナの対応で臨時休業になったり、自宅学習をしなければならぬ状況が生まれたりしています。それに対応する一人一台のタブレットですので、そのタブレットを使って子供が意欲を注いで調べていくような体制が</p>

<p>委員</p> <p>会長</p>	<p>とれるように我々もしなければならぬし、教科書を選んでいく必要があると思います。</p> <p>□今教えていただいたように、東京書籍だと1番後ろの前のページに著作権関係者が載っている。自由社だと年表の後に著作権関係者が載っている。東京書籍と自由社を比べると、自由社の4倍くらいの方が関係者に書かれている。多ければいいというわけではないですが。どのような仕事をされているかをいうと、東京書籍は教諭が多い。大学もいますけど。現場の方が多くかかわっていることがわかる。私も社会科なので、どちらの教科書も面白い、楽しい。先ほど話がありましたが、見方・考え方、グローバルな視野、公民的な資質という面で見方・考え方の指示があったり、グラフや地図が詳細であったり、このような資料をどのように使うのか教師のスキルアップが必要だと改めて感じました。</p> <p>□ありがとうございました。皆さんご意見は出たようなので、この辺で打ち切らしてもらってよろしいでしょうか。それでは、皆さんのご意見をまとめたいと思います。皆さんのご意見のとおり、来年度の中学校の歴史の教科書は、今年度使用している東京書籍で、採択替えをしない方向でよろしいでしょうか。承認いただける方は挙手願います。</p>
<p>委員</p> <p>会長</p>	<p>(全員挙手)</p> <p>□(確認)ありがとうございました。それでは、歴史の教科用図書は東京書籍とし、飛騨地区採択協議会の方向性にしたいと思いますので、お願いします。</p> <p>令和4年度に飛騨地区の小学校の教科書、中学校の教科書、中学校の中でも歴史の教科書については、皆さんのご意見をいただき、飛騨地区採択協議会の選定教科書として意見をまとめることができました。それでは、事務局から今後の手続きについて説明があります。</p>
<p>会長</p> <p>事務局</p> <p>会長</p> <p>事務局</p>	<p>□続いて学校教育法附則第9条に規定する教科用図書「一般図書選定資料小中学校〔特別支援学級用〕」について事務局から説明願います。</p> <p>□特別支援学級における教科用図書について説明します。特別支援学級では、学校教育法附則第9条第1項の規定によって、児童生徒の障がいの種類や程度、能力や特性等に応じて、教科書目録に記載されている教科書以外の教科用図書を採択することができます。いわゆる一般図書と言われるものです。各市村に送付されている岐阜県教育委員会において作成された一般図書選定資料を十分に活用し、採択基準の「採択に当たっての留意事項(4)」に基づいて、各市村でその一覧の中から選んでいただくこととなります。今回、社会の地図帳が1者加わり、全部で356冊となっています。児童生徒の実態に合わせて適正な採択が行われるようにご配慮をお願いします。</p> <p>□ただ今の説明はわかったでしょうか。特別支援学級における教科書の採択ということで、確認ですが、市村の中で自由に選んで良いということですか。</p> <p>□市村で、その一覧表を認めていただき、学校はその一覧表の中から児童生徒の実態に合わせて適切なものを選ぶこととなります。</p>



事務局	□閉会の言葉を採択協議会 副会長 沖畑康子様、お願いいたします。
副会長	□本日は、熱心なご討議をありがとうございました。着眼点等について熱心に協議をしていただきました。改めてお話を聞きながら、そういうことも確かにあるなど、私たちも考えることができました。子供たちにとって、とても有意義な時間であり、いい教科書選定になりました。採択委員の皆様、貴重なお時間をありがとうございました。これをもちまして、令和3年度岐阜県教科用図書第2回飛騨地区採択協議会を終わります。